

ぜん きょう じ
善巧寺報



月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚

▼二〇二三年一月一日▲



江戸発祥の冬菜
お雑煮の名わき役「小松菜」。
生産量は茨城県が第一位、次いで埼玉県、福岡県、そして四位は東京都です。

東京教区の食材

～ 小松菜 ～

定例法座

◎一月十一日(水)

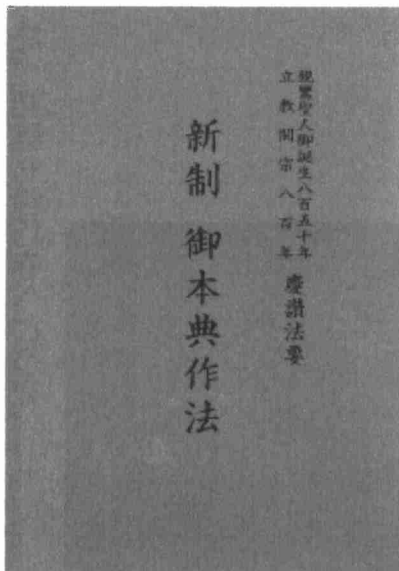
午後二時～三時半
於本堂

『新春初御座』

「立教開宗八〇〇年」

新年、明けましておめでとうござい
ます。旧年中は善巧寺の活動にご理解
ご支援ご尽力賜り有難うございまし
た。本年も何卒よろしくお願い申し上
げます。いよいよ三月末より京都ご本
山におきまして「親鸞聖人御誕生八五
〇年立教開宗八〇〇年慶讃法要」がご
修行になります。特に関東とご縁が深
いのは「立教開宗八〇〇年」でしょう。
浄土真宗の教義の根幹となる『教行信
証』(宗門内では『ご本典』と敬称さ
れます)が著されたのが、常陸国を拠
点に親鸞聖人が関東布教をされてい
た時期に当たるからです。その内容は、

お釈迦様の説法であるお経、高僧方の
論文を引用し念仏往生の論証を試み
たものです。なかなか読みにくく難解
な書物であります。今年は少しずつ
かみ砕いて親鸞聖人のお言葉を味わ
つていただければと思っております。
今回よりこの慶讃法要を記念して
制定された「新制御本典作法」のお勤
めをいたします。緑の声明本をお持ち
の方はご持参下さい(お持ちでない方
には貸出しいたします)



Covid-19 感染対策として窓を開け
常換気で行います。暖かい服装・マス
ク着用でリスクご勘案の上、お参り下
さい。

『教行信証』総序

ひそかにおもんみれば、難思の弘誓
は難度海を度する大船、無碍の
光明は無明の闇を破する恵日なり。
しかればすなはち浄邦縁熟して、
調達(提婆達多)、闇世(阿闍世)
をして逆害を興せしむ。浄業機彰れ
て、釈迦、韋提をして安養を選ばし
めたまへり。これすなはち権化の仁、
弁しく苦悩の群萌を救济し、世雄
の悲、まさしく逆謗闡提を恵まんと
欲す。ゆゑに知んぬ、円融至徳の
嘉号は悪を転じて徳を成す正智、
難信金剛の信樂は疑を除き証を
獲しむる真理なりと。しかれば凡小
修し易き真教、愚鈍往き易き捷徑
なり。大聖一代の教、この徳海にし
くなし。

みほとけ会

Zoomミーティング

明けましておめでとうござい
ます。旧年中は大変お世話にな
りました。本年も、インターネ
ットを用いてのリモートご法話
会を中心に活動いたしますので
どうぞお気軽にご参加下さい。

開催日時 第一、第三木曜日

午後八時〜九時半頃

参加ご希望の方は、

jetfidget@gmail.com

まで

◆◆春日部だより◆◆

◎明けましておめでとうござい
ます。穏やかなお正月となりました。大晦日
も北風が弱かったので、三年ぶりに境
内に色とりどりのキャンドルを灯す
除夜会となりました。

◎元旦より三日間は「三が日勤行」と

名付けて毎朝八時よりお勤め・御文章
の拝読を行っております。今年も春日
部在住の中山さんが皆勤され、お寺よ
り記念品(瑠璃「ラピスラズリ」)で出
来た腕輪念珠を贈呈させて頂きまし
た。初詣も善巧寺へどうぞ。



令和五(二〇二三)年

年 回 法 要 表

回 忌

亡くなられた年

一周忌 令和四年

三回忌 令和三年

七回忌 平成二十九年

十三回忌 平成二十三年

十七回忌 平成十九年

二十五回忌 平成十一年

三十三回忌 平成三年

五十回忌 昭和四十九年

百回忌 大正十三年

※地域によっては二十三回忌、

二十七回忌をお勤めする所もあります。

※ご法事をお勤めされる際は、

お早めに善巧寺までご連絡下さい。